

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。

問 地域振興課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

しかし、登山道に設置された古い道標の年月が経ってかなり傷んでいたため、当まち協のスタッフで道標の交換と整備を行いました。更に頂上手前にある天狗岩展望台も雑木が伸びて見晴らしが悪いため、所有者の許可を得て、雑木の整備をしました。天狗岩からの大パノラマは日本百名山に選ばれた大峰山等の山々を見渡すことができ、休憩場所としても適しているため、ベンチの設置も行いました。



▲整備した天狗岩展望台にて

砥取地区では、「この大師道を後世に残したい」との声もあり、地域で協力しながら新たに道標を立てるなど、整備や補修を行いました。

参道の入り口付近には「山の神さん」が祀られており、地域には「カギヒキ」の年始行事があります。

大師の道は険しい箇所もありますが比較的ゆるやかで、可愛い道案内板や珍しい指差し道標、また旅人の疲れを癒していたと思われる井戸や当時の賑わいが残る茶屋の跡など、片道1時間40分ほどの道のりですが、当時を思い巡らせる参道です。

1 神武東遷伝説の里山、伊那佐山登山道を整備

伊那佐地区まち協

気軽に登れる歴史深い里山、伊那佐山(637m)は現在も信仰の山として、山頂には「都賀那岐神社」が建てられています。また、神武東遷の時に詠んだといわれる歌碑も建てられていて、近年はハイキングで多くの方が訪れています。

一昨年、登山者用に作った旧伊那佐文化センター脇の駐車場も徐々に知る方が多くなり、登山者の方に良く利用をして頂いています。



▲皆で協力して、道標を交換しました

当まち協ではきれいに整備をした伊那佐山登山道を歩いて、多くの方に澤城跡や八咫鳥神社など歴史的な史跡が多い伊那佐地区の魅力がたくさん知ってもらいたいと考えています。

2 弘法大師1150年の道、大師の道ウォーキング

大師の道ウォーキング

4月10日、肌寒くも晴天に恵まれたこの日、室生砥取地区を出発点に、山越えのウォーキングを行いました。

この道は、三重県側より初瀬街道を通り、室生三本松長瀬地区から瀧谷の山を越えて砥取から室生寺へ向かう古道です。

弘法大師の月命日である21日には、室生寺へ「お大師さん参り」をする参道として多くの方々で賑わっています。



▲室生寺へ続く古道

3 令和4年度宇陀市まちづくり活動 応援補助金の交付事業が決定

団体名	事業名と活動内容
一般社団法人 クオリティオブ ライフ SANKI	【三本松地区まるま丸マールベリー計画】 休耕作地を利用してマルベリー(桑の木)を生産しマルベリー農園をつくる。将来は農園として運営し雇用推進、体験を通して子どもたちの農育、食育の提供や各種団体との協力体制を目指す。
芳野城を守る会	【芳野城を中核にした地域活性化事業(芳野城夢プラン)】 芳野地域の貴重な史跡である芳野城を整備することで地域住民の連帯意識を高め、観光資源の活用や歴史、史跡学習会など地域活性化を図る。
UDAミニバス ケットボール スクール	【宇陀松山親子寺小屋】 学校教育で一番欠けていると思われる大切な内容に焦点を当て、寺小屋として開催してきた。今回は簿記教育に取り組む。簿記の間口が狭いので、高学年に簿記3級に触れることは大変意味がある。
紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会	【地域と創る宇陀の魅力事業】 地域の方々とともに新しい可能性を探ることを目的として、宇陀がもつ豊かな自然や歴史、文化の情報を広く伝える事業に取り組む。まちづくり協議会などと協働して、ウォーキングマップやパンフレットの製作を軸に宇陀の情報を発信し、地域で開催される季節の催しを案内する。
龍口地区活性化 プロジェクトチーム	【城山城跡及び龍口城跡を中核にした地域活性化事業(ふるさと歴史「生き」「活き」プラン)】 室生龍口には県および市指定無形文化財がある自分たちが生活する地域の無形・有形の文化財を知り、歴史ある宇陀市で生まれ育ったことを誇りにしてもらう。
うだ子ども能楽教室	【うだ子ども能楽教室】 伝統文化の能楽をプロの能楽師から手ほどきを受けることで、心を豊かにし、能楽を通して礼儀作法を身につける。「あきの螢」等で発表を通して郷土に愛着を持ち、日本の伝統文化に関心を持つ子どもを育てる。
宇陀の薬草を 全国に広める会	【宇陀松山 薬草 発酵 博覧会の開催】 宇陀松山地区周辺のマルシェを開催していた「奈の音」、「久保本家酒造」、「報恩寺」が推古天皇の時代から続く「薬草」と、老舗の酒造、醤油、漬物の加工技術である「発酵」をテーマにしたイベントを6月に開催する。
宇陀未来推進会議	【日本中の20～30代に宇陀を「伝える」映像制作プロジェクト】 日本中の20～30代をターゲットにした宇陀の「暮らし、仕事、風景」を題材にした映像作品の制作を行い、宇陀に興味を持つキッカケを作り、活用して移住定住する人口を増やす。
ゆたかな宇陀	【大和宇陀ワクワク体験プロジェクト】 宇陀市で実施可能な様々な体験をプログラム化し、体験を求める個人や団体に情報を提供し受け入れる窓口となる。 観光目的の「交流人口」から地域の人々との多様に関わる「関係人口」へと親密さを図る。移住や多拠点生活の橋渡し役となる。3年計画事業の2年目。
イルミネーション 実行委員会	【榛原駅イルミネーション事業】 榛原駅前のイルミネーションを観光の目玉になる立派なものにする。LEDの電飾を駅前広場の樹木や屋根に飾り付け、景観の美化を促し規模を拡大して新規に点灯式を行う。SNSからの拡散も見込み見物客も期待できる。今後、北口にもイルミネーションの設置を検討している。



アマナ

日当たりの良い田の土手や、草原、山野に自生する宿根草です。宿根草とは、地上に出た部分だけが冬に枯れて、春に再び成長する植物です。地下に球状の鱗茎を持っていて、これは焼いて食べられます。形がクワイに似ていて、草原に生えているのでムギクワイと呼ばれたり、葉が淡緑色の長い線形に近く、花がユリなので、マツバユリとも呼ばれています。

この鱗茎を春から秋に採集し、天日乾燥したものを生薬名が山慈姑で、煎じて服用すれば滋養強壮剤として効果があるととて、悪瘡、悪瘡などを解毒することができます。また、のどの

痛みにも効果があります。風邪をひくとすぐにのどが痛くなる人は、時々煎じて飲むとよいでしょう。

アマナの薬用植物としての認識は比較的新しく、1038年に書かれた経史証類忘備急本草が最初となります。

丸くて小さな球根の黒い皮をむいて、クワイと同じように調理して食べたり、焼いて皮をはいで食べたりします。アマナの鱗茎には、鱗茎にありがちな特有の苦みや刺激がなく、おいしくいただけます。また、食べているとお



▲葉はさつとゆで、マヨネーズなどであえるとおいしくいただけます。治療効果も得られます。※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075